

## 4. 評価指標

	指標名	現状	目標	指標の説明・目標設定の考え方
①	特定健康診査受診者のうち、空腹時血糖100mg/dL以上の割合	37.6% (全国平均 33.8%) (令和2年度)	全国平均以下 (令和8年度)	発症予防の推進により、有所見者の減少を目指す。
②	特定健康診査受診者のうち、HbA1c5.6%以上の割合	61.9% (全国平均 47.2%) (令和2年度)	全国平均以下 (令和8年度)	発症予防の推進により、有所見者の減少を目指す。
③	特定健康診査受診者のうち、HbA1c6.5%以上の割合	8.9% (全国平均 7.3%) (令和2年度)	全国平均以下 (令和8年度)	重症化予防の推進により、有所見者の減少を目指す。
④	特定健康診査受診者のうち、HbA1c8.0%以上の割合	1.49% (全国平均 1.46%) (令和2年度)	全国平均以下 (令和8年度)	重症化予防の推進により、有所見者の減少を目指す。
⑤	糖尿病性腎症に対する新規人工透析導入患者数	203人 (令和元年～令和3年の平均)	200人以下 (令和8年)	重症化予防の推進により、新規人工透析導入患者(3年間の平均)の更なる減少を目指す。
⑥	糖尿病専門医数	105人 (令和5年6月)	増加	熊本大学病院等と連携し、糖尿病専門医数の増加を目指す。
⑦	糖尿病連携医数	84人 (令和5年4月)	増加	熊本大学病院等と連携し、糖尿病連携医数の増加を目指す。
⑧	熊本地域糖尿病療養指導士数	630人 (令和5年4月)	増加	熊本大学病院等と連携し、熊本地域糖尿病療養指導士数の増加を目指す。